

目次

口絵 写真でたどる東京外国語大学の歩み

『東京外国語大学史』刊行に当たって……………東京外国語大学長 中嶋嶺雄

東京外国語大学沿革略図

変遷 図

凡 例

I 通 史

前 史 「蛮書和解御用」から東京外国語学校へ……………	1
一 「東京外国語大学の起源Ⅱ貞享元年 天文方」説について……………	1
二 江戸時代における外国語需要……………	2
三 洋学研究・教育機関設立の要請……………	5
四 蕃書調所設立の道程……………	9

五	蕃書調所の設立	16
六	蕃書調所の開校	19
七	激動する政治情況と開成所の役割の変化	30
八	明治維新による開成所再編から東京外国語学校の建学へ	35
第一編	東京外国語学校の建学から独立まで	43
一	東京外国語学校設立の経緯	43
二	草創期の東京外国語学校	50
三	教育令制定以後の東京外国語学校	61
四	東京外国語学校廃校への道	69
五	外国語学校廃校の政治的背景	75
第二編	東京外国語学校の時代	79
一	高等商業学校附属外国語学校の設立	79
1	外国語学校の設立・独立の背景(79)	
2	高等商業学校附属外国語学校の出発(91)	
二	東京外国語学校の独立	98
1	外国語学校の独立(98)	
2	専門学校令と東京外国語学校(107)	

三	東京外国語学校の拡充・発展	116
1	日露戦争と東京外国語学校 (116)	
2	東京外国語学校の拡充 (123)	
四	二つの運動と繁栄の時代の東京外国語学校	133
1	校名存続運動 (133)	
2	修業年限延長運動 (149)	
3	繁栄の時代 (160)	
五	危機の時代の東京外国語学校	173
1	危機の到来と東京外国語学校 (173)	
2	ファシズムと戦争の嵐の中で (184)	
第三編	東京外事専門学校時代の時代 一九四四―一九四九年	205
一	東京外事専門学校への移行	205
二	空襲による西ヶ原校舎焼失と《借り》校舎時代	213
三	戦後の東京外事専門学校	216
第四編	新制大学発足期の東京外国語大学 一九四九―一九六〇年	233
一	新制大学基準制定の経緯	233
二	新制大学設置申請と認可の過程	234
三	「外国学」への志向	243
四	「地域研究」の方法	246
五	東京外国語大学の展開	252

第五編 展開期の東京外国語大学 一九六〇—一九九二年

一 一九六〇年代

- 1 時代背景—事件史を中心に (263)
 - 2 岩崎民平教授の学長就任 (267)
 - 3 国立大学最難関の入試 (269)
 - 4 留学生の日本語教育の草分け (270)
 - 5 大学の在り方を模索するなかで (273)
 - 6 大学歌の制定 (282)
- 二 学園紛争と大学の危機

- 1 紛争の社会的背景 (284)
- 2 紛争の経緯と問題点 (286)
- 3 東外大紛争の特質 (311)
- 4 紛争の教訓と紛争以後の東外大 (321)

【附】 辞表を書いたころ 原 卓也

三 昭和四十年代後半以降

- 1 西ヶ原キャンパスの完成と大学の拡充 (330)
- 2 朝鮮語学科の開設をめぐる (332)
- 3 大学移転への意思決定 (334)

【附】 私にとつての東外大 長 幸男

第六編 改革期の東京外国語大学 一九九二年—現在

一 改革期の開幕

- 1 大学設置基準の「大綱化」と大学院博士課程の発足 (341)
 - 2 学科統合への動き (343)
- 二 《一九九五年改革》

1 大学改革の動向と「一九九五年改革」(344) 2 将来計画検討委員会の活動(350)

3 「一九九五年改革」の特質と未解決の課題(359)

三 二十一世紀の東京外国語大学像の追求と大学改革への取り組み……………367

1 学内情報基盤の充実(368) 2 学生部の改革(369) 3 点検評価活動の活性化(372)

四 国際化の進展……………375

1 現況と近年の傾向(375) 2 留学生受入れ—本学の位置(380)

3 ISEPTUFSとUMAP(383) 4 地域への貢献—北区との事業などについて(386)

五 大学改革とキャンパス移転……………387

1 大学改革の推進(387) 2 キャンパス移転への歩み(390) 3 百周年記念事業の展開(405)

II 個別史

英語……………409

一 組織と制度の変遷……………409

1 百年の変貌(409) 2 前史(410) 3 高等商業学校附属外国語学校(417)

4 東京外国語学校(419) 5 東京外事専門学校(450) 6 東京外国語大学(1) —一九九四年まで(455)

7 東京外国語大学(2) —一九九五年以後(472) 8 学校運営への貢献(474)

二 研究と教育……………477

1	英語教育学 (477)
2	英語学 (488)
3	英語音声学 (495)
4	英語辞書編集 (500)
5	英米文学 (512)

ドイツ語

一 前 史

二 東京外国語学校時代 一八七三—一九四四年

- 1 建学期 (525)
- 2 創立・独立期の独語学科 (528)
- 3 その後の変遷 (531)
- 4 入学者数、卒業者数 (536)

三 東京外事専門学校時代 一九四四—一九四九年

四 東京外国語大学時代 一九四九年—現在

- 1 変 遷 (539)
- 2 東京外国語大学時代の教師陣 (543)

五 大学院

六 学生の活動と進路

フランス語

一 序 章

- 1 幕末、明治初期における仏学の黎明 (553)
- 2 旧東京外国語学校 一八七三—一八八四年 (559)
- 二 東京外国語学校時代 (明治・大正期) 一八九九—一九二六年

1	「仏語学科」時代	一八九九—一九一九年 (563)	2	「仏語部」時代	一九一九—一九二六年 (564)	569			
三	東京外国語学校 (昭和期)・東京外事専門学校時代	一九二七—一九五一年	1	昭和初期の仏語部	一九二七—一九四一年 (569)				
	2	戦中・戦後の仏語部、フランス科	一九四二—一九五一年 (577)						
四	東京外国語大学時代	一九四九—一九九八年	1	新制大学発足期	一九四九—一九六五年 (581)	581			
	2	展開期	一九六五—一九九二年 (590)						
	3	改変期	一九九二年以降 (598)						
イタリヤ語									
一	東京外国語学校創立以前	615	1	日本とイタリヤ (615)	2	伊学協会と日本におけるイタリヤ語教育の開始 (617)	615		
二	東京外国語学校伊語学科 (新制大学発足以前)	618	1	イタリヤ語の教官と学生 (618)	2	イタリヤ語教官の専門、業績、活動 (629)	618		
	3	一九五一年までの卒業生 (635)							
三	東京外国語大学発足以降	640	1	発足期	一九四九—一九五六年 (640)	2	成長期	一九五六—一九六六年 (648)	640
	3	展開期	一九六六—一九九二年 (657)	4	再編期	一九九二年以降 (670)			

スペイン語 681

一 前 史 — 日本とスペイン語圏との関係 681

二 東京外国語学校時代 683

1 西語部から西語学科へ 一八九七—一九一九年 (683)

2 西語部への改編と発展 一九一九—一九四一年 (697)

3 戦時体制下の西語部 一九四一—一九四四年 (704)

三 東京外事専門学校時代 705

1 戦争末期 一九四四—一九四五年 (705) 2 終戦直後 一九四五—一九四九年 (706)

四 東京外国語大学時代 708

1 イスパニヤ学科から五部一類へ 一九四九—一九六一年 (708)

2 スペイン科からスペイン語学科へ 一九六一—一九九五年 (715)

3 欧米第二課程スペイン語専攻への改編 一九九五年—現在 (724)

ポルトガル語 737

一 東京外国語学校の時代 737

二 東京外事専門学校の時代 749

三 新制大学発足期の東京外国語大学 752

四	展開期の東京外国語大学	755
五	再編期の東京外国語大学	761
	ロシア語	767
一	ロシア語の黎明期	767
二	旧外語魯語学科の発足と外国人教師	771
三	魯語科とナロードニキ精神	773
四	日本人教師陣とカリキュラム	780
五	東京外国語学校の創立	794
六	明治期の露語科の授業内容	803
七	日露戦争とその後の露語科	813
八	露語部の教育における「露西亜会」の役割	824
九	東京外事専門学校から東京外国語大学へ	835
十	紛争前後から現在まで	842
十一	現状と人材	845
	東欧	849
	ポーランド語・チェコ語	849

一 ポーランド語とチェコ語

二 七年間の動き

中国語

一 唐通事の担った初期中国語教育 — 南京官話から北京官話へ

- 1 黎明期 (855)
- 2 東京外国語学校の開学と漢語学科 (858)
- 3 漢語学所の設立 — 東京外国語学校漢語学科の母胎 (867)
- 4 長崎唐通事の系譜 (869)
- 5 唐通事の教えた「南京官話」 (875)
- 6 東京外国語学校漢語学科の開業 (880)
- 7 北京官話教育への転換 — 川崎近義の事績 (885)
- 8 北京官話習得のための留学生の派遣 (889)
- 9 宮島大八 — 興亜会からの編入生たち (892)
- 10 明治初期の中国語教科書の系譜 (894)
- 11 明治期隆盛の頃の東京外国語学校 (896)
- 12 東京外国語学校の廃校 (900)
- 13 再び長崎へ — 中国語教育の復活 (904)
- 14 長崎から上海へ — 荒尾精と御幡雅文 (907)
- 15 資料と文献 (910)

二 東京外国語学校から東京外国語大学へ

- 1 草創期の清語科 (912)
- 2 大正から昭和にかけての支那語科 (922)
- 3 昭和前期の支那語部 (926)
- 4 別科・専修科に学んだ人たち (932)
- 5 東京外事専門学校支那科・中国科 (935)
- 6 東京外国語大学中国語学科 (938)

朝鮮語

一 前史

- 1 対馬における朝鮮通詞養成 (953)
- 2 明治維新と朝鮮通詞 (955)

二 東京外国語学校の建学と朝鮮語学科設置

- 1 朝鮮語学科設置 (961)
- 2 旧外語朝鮮語学科 (964)
- 3 旧外語の廃止 (971)

三 新外語の韓語学科

- 1 教員と生徒の状況 (975)
- 2 朝鮮の植民地化と韓語学科 (980)

四 朝鮮語学科の廃止

- 1 韓国併合と朝鮮語学科への改称 (983)
- 2 朝鮮語学科の廃止 (986)

五 朝鮮語学科の復活と朝鮮語教育

- 1 朝鮮語学科の復活 (988)
- 2 復活後の朝鮮語教育 (990)

モンゴル語

一 蒙古語学科の誕生と発展 一九〇八—一九四五年

二 東京外事専門学校から東京外国語大学へ

三 新たな段階へ 一九八九年以降 — 世代交代とモンゴルの民主化

953 953 961 975 983 988 1003 1003 1017 1026

東南アジア	1031
一 現 状	1031
二 東南アジア課程の成立	1034
三 卒業者および教官	1045
四 東南アジア語学科と『東京外大東南アジア学』	1060
五 語劇覚え書	1061
附 オランダ語	1063
インド語	1075
一 ヒンドスタン語学科の時代	1075
1 草創期と発展期 (1075)	
2 東京外事専門学校期 (1081)	
二 新制大学におけるインド語学科の発展と拡大	1082
1 インド学科の時代 (1082)	
2 インド・パーキスタン学科 (ウルドゥー) の時代 (1086)	
3 インド・パーキスタン学科 (ヒンディー) の時代 (1091)	
西アジア	1099
一 アラビア語専攻	1099
一 アラビア語	1099
二 ペルシア語	1099
三 トルコ語	1099

二	ペルシア語専攻	1111
三	トルコ語専攻	1121
	留学生・日本語	1125
一	留学生受入れ制度変遷の概観	1125
二	戦後日本の留学生受入れ政策の始動	1126
三	「留学生別科」の時代 一九五四年九月―一九六〇年三月	1128
1	留学生受入れ準備 (1128)	
2	留学生別科規程と担当教官 (1129)	
3	留学生別科の本格的開講 (1131)	
4	留学生別科の運営 (1133)	
四	「留学生課程」の時代 一九六〇年四月―一九七二年三月	1135
1	留学生課程の設置 (1135)	
2	留学生課程発足時の教官 (1136)	
3	留学生課程のカリキュラム (1137)	
4	留学生課程の運営 (1139)	
5	留学生課程廃止の理由 (1140)	
6	日本語専攻学科の設置へ向けて (1141)	
7	大学紛争と留学生課程 (1144)	
五	「特設日本語学科」の時代 一九六八年三月―一九八五年三月	1145
1	留学生受入れ新体制 (1145)	
2	「日本語学科」案と「特設日本語学科」 (1146)	
3	特設日本語学科のカリキュラム (1148)	
4	改善要求―教授会の統合を求めて (1150)	
5	日中国交回復と留学生十万人計画 (1151)	

六 「日本語学科・日本課程」の時代 一九八五年四月……………1153

1 日本人学生の定員化 (1153) 2 日本語学科のカリキュラム (1154) 3 学生の構成 (1157)

4 東京外国語大学の中の日本語学科 (1158)

共通講座……………1161

一 大学の発足と一般教育……………1161

二 「語学・文学専修」と「国際関係専修」……………1164

三 共通講座の変遷……………1166

四 共通講座の特色と教官プロフィール……………1169

体育・保健……………1177

一 東京外国語学校の時代……………1177

1 東京外国語学校の建学から独立までの体育 一八七三—一八九九年 (1177)

2 東京外国語学校の独立と体育 一八九九年 (1179)

3 東京外国語学校の発展・変遷と体育 一九〇〇—一九四三年 (1180)

二 東京外事専門学校時代の時代 一九四四—一九四九年……………1183

三 東京外国語大学……………1185

1 新制大学の発足と体育・保健 (1185)

	2	発定期における体育・保健のカリキュラム	一九四九—一九六〇年 (1186)
	3	展開・学園紛争期における体育・保健	一九六〇—一九九二年 (1187)
	4	再編期における体育・保健—カリキュラム改革—	一九九二年から現在まで (1188)
	5	体育施設	(1190)
大学院		外国語学研究所修士課程	1193
一		東京外国語大学大学院の創設と外国語学研究所の成長期	一九六六—一九七七年
	1	専攻生課程および専攻科課程 (1194)	
	2	外国語学研究所修士課程の新設 (1195)	
	3	研究科の成長と「日本語学専攻」の増設 (1200)	
二		東京外国語大学大学院の拡充と外国語学研究所の発展期	一九七七—一九九二年
	1	地域研究研究所の併設 (1201)	
	2	専攻科目・コースの充実 (1202)	
大学院		地域研究研究所修士課程	1219
一		地域研究研究所の設置	1219
二		地域研究研究所の歩み	1225
大学院		地域文化研究所博士課程 (前期・後期)	1227
一		博士課程への悲願	1227
二		地域研究研究所博士課程設置への試み	1228

三	博士課程設置への全学的な取り組みへの転換と模索	1229
四	「博士課程設置に関する専門委員会」の発足とその作業	1231
	1 「博士課程設置に関する専門委員会」の発足 (1231)	
	2 設置作業中の二つの問題 (1233)	
五	本審査と博士課程の発足	1236
六	地域文化研究科の歩み	1237
七	大学院重点化と大学院改革	1245
	1 求められる大学院改革 (1245)	
	2 大学院重点化の試み (1246)	
	3 大学院の将来 (1249)	
海外事情研究所		
一	成り立ちから二十周年まで	1251
二	一九七〇年代以降の活動	1254
	1 海外事情研究所設置の経緯 (1251)	
	2 海外事情研究所の基本的方向性 (1252)	
	1 研究活動の活発化 (1254)	
	2 海外事情研究所の将来 (1257)	
語学研究所		
総合文化研究所		
		1267
		1259

視聴覚教育センター	1269
一 設立と組織	1269
二 設 備	1272
三 展 望	1273
アジア・アフリカ言語文化研究所	1275
一 沿革と組織	1275
二 研究活動	1286
三 情報資源利用研究センター	1298
四 出版活動	1300
五 言語研修その他	1302
六 研究環境	1305
七 将来に向けて ―開かれた情報発信拠点を目指して―	1312
留学生日本語教育センター	1315
一 外国語学部附属日本語学校	1316
1 設立のいきさつ (1316)	
2 創設期 一九七〇―一九七二年 (1317)	
3 安定期 一九七三―一九八三年 (1320)	
4 活動期 一九八四―一九九〇年 (1322)	

5 留学生教育教材開発センターの設置 (1323)

6 激動期 一九九〇―一九九二年 (1324)

二 留学生日本語教育センター……………1325

附属図書館……………1337

一 草創期……………1337

二 再建と充実期……………1339

三 再出発と発展期……………1342

四 新図書館の時代……………1344

五 コンピュータ化へ……………1346

六 移転を機に……………1347

年 表……………1349

執筆者一覧

東京外国語大学史編纂委員会委員

写真提供者

編集後記

東京外国語大学概要 (一九九九年現在)